



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 11月号
平成 20年 10月 29日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

がんば ちょっとだけ頑張れば、できるめあて

学校長 小池 慎一

後期の始業式で、私は子どもたちに、「私の後期のめあては、1日一万歩、後期の100日間で、百万歩、歩くことにしました。」とお話ししました。

このめあてをたてた理由は、江戸時代中期に大変精度の高い日本地図を作った伊能忠敬という人についての本を読んでいたからです。伊能忠敬は、50歳を過ぎてから天文や測量を学ぶために江戸に出て学問を修め、55歳から日本地図を完成させるまでの18年間に、日本の海岸線に沿って全部でおおよそ四千万歩を歩いたと考えられています。18年でなくおおよそ20年で四千万歩と考え、1年間に二百万歩、半年で百万歩ということになります。

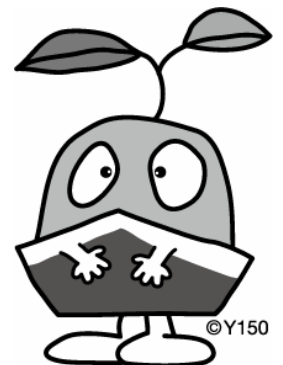
私は、伊能忠敬のように、実際に日本全国の海岸線を歩くわけにはいかないけれど、でも同じくらいの歩数を歩くことはできるのではないかと考えました。

伊能忠敬は、地図作成の旅に出発する前に、まずは住んでいた深川の周辺で自分の歩数と距離の関係を調べ、一定の歩幅で歩く練習を何度もしたそうなので、私もそれを真似して秋休みの間、1日に歩く歩数を調べました。しっかり歩いたなと思う日は、一万三千歩くらい歩いています。あまり歩かなかったなと思う日は、七千歩くらいでした。だから、ちょっとだけ頑張れば1日一万歩、後期はちょうど100日間あるので、百万歩のめあてをたてても、「ちょっとだけ頑張れば」できるはずだと思いました。

このことをもとに始業式の中で子どもたちに「ちょっとだけ頑張ればできる」ようなめあてをたてるのが大切なのだとお話ししました。『一生懸命頑張ってもできるかどうか分からないめあてをたててしまうと、達成できないかもしれません。これでは失敗してくじけてしまう気持ちが残ってしまいます。逆に少々怠けてもできてしまうようなめあてでは、意欲が続かないし、達成感も味わえません。

だから、みなさんがめあてをたてる時に「ちょっとだけ頑張ればできる」というようなことをめあてにしてみるといいですね。そして、一つずつ一つずつ積み上げていきましょう。』と、お話しをしました。

さて、後期が始まって10日がたちました。私自身のめあては、今日までの10日間で十万歩をなんとか達成できたので、このペースで残りの90日間続けていきたいと思っています。



©Y150

横濱開港150周年